

各論

分野別目標1

安定した雇用を生み出す産業が元気なまち

分野別目標2

住みたいと選ばれる魅力があふれるまち

分野別目標3

子供たちがいきいきと育つまち

分野別目標4

誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち

各論の紙面構成

めざす10年後の姿
この施策を進めることにより、10年後どのような状態になっていることをめざすのかを記述しています。

施策のタイトル
この施策の施策体系の中での位置を示しています。

施策 1-1-1 地域を支える既存産業の振興

〈めざす10年後の姿〉
地元和歌山産の魅力的な商品・サービス等の充実により市民の市産品に対する愛着が増し、市内消費が拡大するとともに、自社ブランドや地域ブランドが創出され、新たな市場での販路が開拓されている。



吊り編みニット製造工場

取組方針
「めざす10年後の姿」を実現するために、主に市（行政）が行うべき取組の方向性を記述しています。

強みを次世代に引き継ぐための中核的企業の発掘と成長促進
企業訪問を積極的に行い、本市の産業振興の基礎となる企業情報の収集を強化し、収集した中小企業への波及効果が高いと考えられる支援策や支援対象企業の検討を行います。またとして発展が見込まれる企業に対し、新たなビジネスチャンスの創出等により成長新製品の開発、販路開拓、他企業との連携に関して、国や県の施策の活用を含め

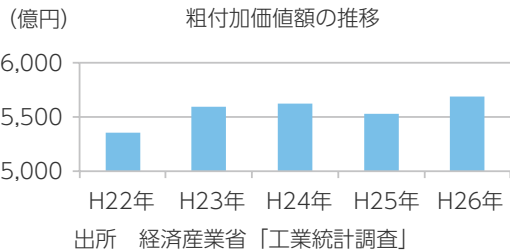
まちづくり指標
「めざす10年後の姿」の達成度を測るため、施策単位で1つもしくは2つの指標を設定し、計画期間中に達成をめざす目標値を記述しています。

伝統ある産業の持続的な発展をめざすためのブランド化
繊維、木材、家具、皮革などの地場産業^{*114}について、技術革新やデザイン性等の高い製品の開発を促進し、付加価値の高いものづくりを支援します。また、見本市や展覧会への出展、その他PRの強化を図るとともに、県等と連携しながら海外の展示会への出展を支援するなど、海外での販路開拓を促進します。さらに、海外製品等との差別化を図り、競争力を高める自社ブランド・地域ブランドの創出を図る企業を積極的に支援します。

生活を支えるサービス産業の生産性向上
労働生産性^{*273}を高めるため、先進的な取組事例等の導入や研修会の開催等を支援し、競争力を高めた集客力向上の取組をはじめとする多様なニーズへの対応やサービス提供による商業の活性化を図ります。中央卸売市場の再整備については、コールセンター^{*78}の導入による生鮮食料品等の品質管理の実現や、市場の現状を考慮した機能的でコンパクトな施設をめざすとともに、市民からも親しまれる市場づくりに努めます。

まちづくり指標	基準値	目標値 (H38年)
粗付加価値額 ^{*9}	5,691億円 (H26年)	6,412億円
サービス産業の労働生産性	402万円/人 (H24年) (※485万円/人)	全国平均

※は全国平均 (H24年)



各主体の役割
「めざす10年後の姿」を実現するために、市民、地域（自治会など）、施策に関係するNPOや事業者などの役割を記述しています。

紀州筆筒

役各主体の役割	市民	地元産品の購入に努め、地産地消を推進する。
	地域・NPO等	魅力ある商店街づくりや人材育成に取り組む。
	事業者	海外製品等との差別化を図り、多様なニーズへの対応やサービス提供に取り組む。
関係部	産業部 農林水産部	関係部 この施策を実施するにあたり関係する市役所の部名を記述しています。
関連する個別計画	和歌山市産業振興ビジョン わかやまリノベーション推進計画	関連する個別計画 この施策に関連する市（行政）が策定した個別の計画名を記述しています。